

12月議会
日本共産党
市議団

介護保険料の値上げ中止、小学校給食の民間委託やめよ、小児初期救急の再開求め 一般質問

『町田市平和の日』制定を

部長…非核平和都市宣言を行った市制記念日の2月1日を平和を考える日と位置付けている。

佐藤よう子市議は平和施策の拡充を求め、「町田市平和の日」制定、原発からの撤退を非核平和都市宣言に盛り込むことを求めました。市長は、原発政策は国の問題と答弁。圧倒的な市民の原発はいらないの声を背を向けました。多摩境駅広場のエレベーター設置については、2013年のバリアフリー基本構想の中で考える、交番設置についても引き続き都に要望していく。また自転車が安全に走れるよう、交通安全計画を策定、自転車レーン設置も検討中との答弁がありました。



佐藤よう子
TEL(797)5948

町田の古代遺跡の歴史と回マンを子どもたちと市民に

とのむら健一市議は、市内で発掘された古代遺跡の歴史と回マンを、博物館事業や学校教育で、子どもたちと市民に積極的に提供するよう求めました。教育長は、「町田市の貴重な歴史遺産をさらに提供していきたい」と答えました。小児準夜救急医療については、「待合室の改善を図る」と、市民病院の小児初期救急再開（二次救急は実施）については、「再開に必要な常勤医確保に努める」と答弁。新庁舎建設に伴う市内業者活用と名産品の販売についても質問しました。



本町田の遺跡公園

とのむら健一
TEL(793)5458

無料 法律相談のご案内

2月8日 水 市役所5階日本共産党控室
2月22日 水 木曽山崎センターA館会議室
いずれも14時から、予約が必要です。
TEL042 (723) 6312か各市議へご連絡ください。

自校直営の学校給食を守れ

細野りゅう子市議は、自校直営で栄養士や調理員が一体で子どもの成長のためにがんばる自校直営の給食を守るよう求め、市が計画する小学校給食の民間委託は、学校の施設を民間業者に専用させ、栄養士が立ち入ることや直接指導することができないことを、明らかにしました。また、東急線南町田駅の北口整備で交番設置を強く求めるとともに、あふれている駐輪場の改善を求めました。障がい児童デイ施設が法内施設に移行する場合にも、家賃補助を継続するように求めました。



給食をつくる調理員さん

細野りゅう子
TEL(796)8163

学校給食の放射性物質調査を

教育長…実施の方向で検討している

池川友一市議は、放射能問題について質問。市民の不安にこたえる細かい測定を求めた質問には、公立の全小中学校と保育園の細かい放射線測定に加え、測定器を10台購入して児童青少年施設や公園などでも測定をすると答弁。また、学校給食の放射性物質調査を求めた質問に、「実施する方向で検討している」とはじめて答弁がありました。他にも、待機児ゼロへ認可保育所の増設を柱にしたとりくみ、住宅リフォーム助成制度の抜本的拡充を求めて質問しました。



池川友一 TEL(734)1116

介護保険料の大幅値上げはやめるべき

佐々木とも子市議は、12年度からの介護保険料を基準月額3950円→5400円という大幅値上げはすべきではないと、介護給付費準備基金(12億円)等の取り崩しを求めました。いきいき健康部長は、「基金の活用を予定している」と答弁。木曽山崎団地地区のまちづくりについては、市長が「団地の広い空間や緑などを資産と捉えて、団地再生のモデル事業と位置付ける」とし、今年度中に学校跡地活用を含めた構想案をとりまとめ、地区計画策定作業へ進めていくとしました。



まちづくり構想が進行中の山崎団地

佐々木とも子 TEL(793)4137

『消費税率の引き上げに反対する意見書』賛成多数で可決! 共産党提出

「消費税増税と社会保障削減の中止求める署名」にご協力を!

意見書・請願	日本共産党	民主党・社民・ネット	公明党	自由民主	まちなみ新世紀	志政クラブ	諸派	賛否結果
介護保険制度の安定的な運営のために国庫負担の引き上げを求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	可決
消費税率の引き上げに反対する意見書	◎	△	○	△	×	△	△	可決
医療費の大幅な負担増の中止を求める意見書	◎	○	×	△	×	○	△	可決
後期高齢者医療保険料を値上げしないために財政支援を国及び東京都に求める意見書	◎	○	○	○	×	○	○	可決
国に対し「こころの健康法」制定を求める意見書	◎	○	◎	◎	○	○	○	可決
障害者総合福祉法の制定を求める意見書	◎	◎	○	◎	○	◎	○	可決
第5期の介護保険料設定に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	採択
災害廃棄物受け入れに関して慎重な対応を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	採択

◎は共産党市議団提出または共同提出 ○は全員賛成 △は一部賛成 ×は全員反対

野津田陸上競技場整備費 総額50億円

市民のいのち・くらしを守る予算を最優先に

プロサッカーチームFC町田ゼルビアが昨年12月、Jリーグ（J2）に昇格しました。町田市は同チームを支援し、J2昇格基準を満たすための野津田陸上競技場整備に、度重なる財政支出をおこなってききましたが、12月議会ではさらに2度の補正予算が提案されました。その結果、来年度予算分も含めて、同競技場整備にかかる総額は50億円に上がることが明らかになりました。

日本共産党は、サッカーを含めた市民スポーツの振興を求めながら、市民の十分な理解を得ないまま、陸上競技場整備に対する際限のない財政投入は行ふべきではなく、災害対策の充実や医療費負担の軽減など、「市民のいのちやくらしを守るための予算こそ優先すべき」として、補正予算（第3号、第4号）に反対しましたが、いずれも多数で可決されました。一方、今議会には、日本陸連の第三種公認に必要な同競技場整備を計画通りに進めてほしいという請願が関係者から出され、全会一致で採択されました。今後、競技場整備中もJ2の試合を行うために仮設メディアセンターが設置されます。また、不調による再入札に伴う競技場整備の工事契約案件が臨時議会に提案される予定です。

昨年制定されたスポーツ基本法には、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利」と明記されています。にもかかわらず、施設整備などの国のスポーツ予算はあまりにも貧弱です。日本共産党は、多くの市民が参加できるスポーツの振興のために、国や市に対してスポーツ政策と予算の拡充を求めてまいります。